

ふくしまで働く・暮らす・新しい私

ふ く ら す

F U K U R A S



Q. 「ふくしま12市町村」ってなに？ 移住者ってどのくらいいるの？

「ふくしま12市町村」はここ！

A. 「ふくしま12市町村」とは、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、避難を余儀なくされた12市町村（田村市・南相馬市・川俣町・広野町・楡葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・飯館村）のこと

令和5年度の福島県の移住世帯数・移住者数は2437世帯、3419人。平成18年度の調査開始以来、最多を記録しました。12市町村の移住世帯数・移住者数は令和元年度で115世帯・152人から毎年増加し続け、令和5年度には637世帯・839人と約5.5倍の人数に達しました。 ※出典／「令和5年度移住世帯数・移住者数について」（福島県企画調整部ふくしまぐらし推進課）



Q. 各市町村それぞれに話を聞くのは大変そう… まずはどこに相談したらいい？

A. 「ふくしま12市町村移住支援センター」へご相談を！ 各市町村の特色・仕事・住まいなどあらゆる相談に対応。移住セミナーや移住体験ツアーも定期的に開催しています。

問い合わせ

TEL 0800 (800) 3305 (平日 8:30~17:00)
メール ijyu-shien@fipo.or.jp

ふくしま12市町村移住ポータルサイト
未来 ワーク ふくしま



センターの役割

広域戦略等

- 全国の移住に興味を持つ層への情報発信
- 仕事や住まいの情報提供

移住支援等

- 市町村、まちづくり会社等のサポート
- 12市町村への移住希望者相談対応
- 市町村との連携事業の実施
- 移住希望者への交通費等補助

ノウハウ蓄積等

- ノウハウの蓄積および共有
- 全国の先進事例などの調査・分析

Q. 移住後、地域の人と交流する機会はある？ 移住のイメージが具体化できてきたらどこに相談すればいい？

A. 移住者同士や地域の人を交えた交流会やイベントを開催している市町村もあります。また、各12市町村の移住担当課は P8~P10 で紹介しています。下記に掲載がない市町村については P8~P10 をチェック！（令和6年6月現在）

交流会などを開催している団体

田村市	たむら移住相談室 TEL050 (5526) 4583 田村市主催で移住者交流会を年に3回程度実施
南相馬市	みなみそうま移住相談窓口 よりみち TEL0244 (26) 8518
広野町	合同会社ちやのまプロジェクト TEL0240 (23) 6882
楡葉町	一般社団法人ならはみらい TEL0240 (23) 6271
川内村	一般社団法人かわうちラボ（川内村移住・定住支援センター） TEL0240 (23) 7040
大熊町	大熊町移住定住支援センター TEL0240 (23) 7103
飯館村	飯館村 いいたて移住サポートセンター【3号】 TEL0244 (68) 2850

浪江町

なみとも

connect and create in Namie



◀ホームページ

なみとも 代表
小林奈保子さん



浪江に移住した若者で2018年に立ち上げた団体「なみとも」。町民や移住してきた方の交流イベントを実施したり、LINEのオープンチャットを活用して町内の暮らしの情報交換を行っています。2022年からは駅前のにぎわいづくりを目的に「新町にぎわいマーケット」を開催し、町内外の方が浪江町に訪れ、「いまのなみえ」に触れる機会をつくっています。

新町にぎわいマーケット



交流会

Q. 移住先の「お仕事探し」をしたい！

A. まずは「働きたいネット」をチェック！ 厚生労働省福島労働局から受託している「福島広域雇用促進支援協議会」がひとり一人に寄り添った丁寧なサポートを提供しています。利用は全て無料。詳しい内容は P11 をご覧ください。



気軽にご相談を！

働きたいネット
福島広域雇用促進支援協議会
イメージキャラクター
はたらっこ



株式会社ホップジャパン
村主渉さん (28)
2023年 静岡県から移住



「おいしくなってほしい！」
という一心で造っています

自分のレシピで醸造したクラフトビールを届けるのが目標

緑とホップの風が感じられるブルワリー「ホップガーデンブルワリー」を運営する「ホップジャパン」。醸造士として働く村主渉さんは昨年静岡県から移住しました。「好き」を生かして打ち込める仕事をしたいと思ったことがきっかけで転職を考えるように。クラフトビールが好きだったので、醸造士は憧れの仕事でした。



タップルームで自分が造ったクラフトビールを提供する村主さん

ホップガーデンブルワリーはホップ栽培から醸造まで行っているのが特徴。全て手摘みで収穫した新鮮な地産ホップを使っていきます。「空気がとっても澄んでいる田村市。その証拠に夜は満天の星が見られます。日当たりが良くて空気がきれいな田村市だからこそできること。クラフトビールを軸にして人やものをつないでいけたら。」

自分が醸造に関わったビールが皆さんに届いていると思うと感慨深い。イベントで会ったお客さんに直接『おいしい』の声をいただいた時は本当にうれしかったです。自分が造ったものを通じて交流できるのは幸せだなと感じます。ブルワリーでは出来たてのビールを味わえるほか、購入も可能。ホップの収穫体験も行っています。「ホップの種類や入れるタイミングで味の表現が多種多様に変わるのが面白いところ。現在は醸造長のレシピに沿って造っていますが、いずれは自分のレシピで醸造することが目標です。今後も最高のクラフトビールを目指して醸造に打ち込みたいと思います。」



株式会社ホップジャパン

TEL 0247 (61) 5330
9:00~17:00
福島県田村市都路町岩井沢
北向 185-6 グリーンパーク
都路内
木曜日定休



移住を考えている方へ

「会う」・「話す」など直接つなげる機会をつくると思います。私も入社前に働いている人たちと会って話してみることので「受け入れてもらえている」ということを感じ、移住への不安がなくなりました。住む上で「働く」のは大事なことです。ぜひ楽しく働ける環境を見つけてください。



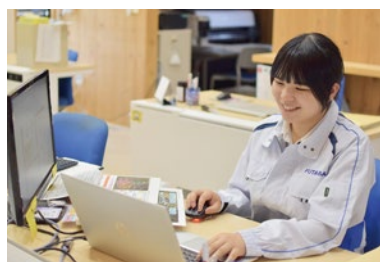
まちづくりは
「自分が暮らすまちの
ことを考える」こと



株式会社ふたば 富岡本社
五十嵐日和さん(24)
2023年 山形県から移住

富岡町の「今」を知りながら
誇りを大切にしたいまちづくりを

「富岡町のことを知ったのは就職活動のとき。幼い頃に出身である新潟県で中越地震を経験したことや、母が石巻市出身だったこともあり、被災地のことは気になっていました」と話すのは、五十嵐日和さん。社会インフラ整備の測量・設計を中心に社会コンサルタントを目指す「ふたば」で地域デザイン(まちづくり)を行っている。山形県で過ごした大学時代には建築・環境デザインを専攻。「生まれ育ったのは地域全体で子どもを育てていくような小さな町。町の将来についてみんなで考えるのが当たり前の環境でした。『まちづくり』は『自分が暮らすまちのことを考える』こと。自ずと興味を持つようになりました」。



まちづくりの計画について分かりやすく伝えるため、丁寧に資料を作ります

ポランティアへの参加など地域と交流する機会を積極的につくっているそう。「お互いにつながるを見つけようとしてくれる温かさがあります。すぐに知り合いが増えていくのがうれしいです」。

五十嵐さんはまちづくりの計画について、住民の方との意見交換会やワークショップを通じて意見を集めます。「さまざまな意見のポイントをくみ取って方向性を示せるよう努めています。分からないことは周囲の人に素直に聞きま

す。つくっていくのはみんなだけで住む大切な富岡町。新しいさだけを見るのではなく、住民の方にとっての誇りも大切に守っていきけるようなまちづくりをしていきたいです」。

富岡町を知るため、会社としてイベントでの出店や清掃が楽しい」。



株式会社ふたば 富岡本社

TEL 0240 (22) 0261
福島県双葉郡富岡町曲田 55



移住を考えている方へ

富岡町はとても海がきれいなところ。もともと自然豊かなところに住んでいましたが、こんなに海が近い町は初めて。移住してから海が大好きになりました。移住を考えている方は街を一度訪れてみるのはいかがでしょうか。新しい発見や自分のやりたいことが見つかるかもしれません。



株式会社ウッドコア
光谷貴一さん (45)
2023年 青森県から移住



新しい建物が
造られていく未来に
携われるのがうれしい

福島県産の木材を使って 地域の憩いの場をつくる

「福島イノベーション・コースト構想のもと、福島県の復興を木造建築から支える『ウッドコア』で働く光谷貴一さん。2023年7月に青森県むつ市から移住しました。『漁業で使う包装資材の販売に携わっていました。近年、猛暑などの天候の変化で不漁傾向に。今の仕事を続けていて良いのかと考えるようになりました。』

両親が他界し、社会はコロナ禍へ突入。考え悩む日々を過ごしていたそう。「もともと建設に興味があったので、まずは資格の勉強をしてみることに。『車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）』や『玉掛け技能講習』など4つの資格を取得しました。福島県で移住者を募集していることを知り、興味を持ち始めた頃、資格を生かせるこの仕事に出会いました。」

ウッドコアは「福島高度集材材製造センター（FLAM）」として中・大規模木造建築向けの高度な集材材を製造。大断面集材材工場としては国内最大規模を誇ります。光谷さ



樹種や長さによって選別された原木のサイズを測る光谷さん

んは原木の受け入れ・選別・剥皮・製材を担当しています。『道の駅なみえ』でも柱などに集材材が使われています。初めて見た時、福島県産の木材で地域の拠点となる建物がつくられていることに深く感動しました。」

「浪江町は『住みたい田舎ベストランキング』（宝島社発行 田舎暮らしの本 2024年版）人口1万人未満の町総合部門と若者世代・単身者部門」で1位を獲得したすてきな町。どんどん開発が進んでいる真っ最中です。これから新しい建物が造られていく未来を想像するとワクワクします。私も仕事を通してその現場に携わることができるとが楽しみです。」



株式会社ウッドコア

TEL 0240 (25) 8400
8:00~17:10 受付
福島県双葉郡浪江町大字棚塩字赤坂 1-1
日曜日、祝日、第2・第4土曜日定休（ほか会社カレンダーによる休日）



移住を考えている方へ

福島県外からの移住希望者に向けて豊富な支援制度があり、自分に合った制度を利用することができますよ。地域の方が交流の場をつくってくれるので、単身の移住でも情報交換しやすい環境です。浪江町に来たら「NAMIE WATER ~なみえの水~」もぜひ飲んでみてください。



一人ではできなかった
「復興」に関わる
きっかけをもらった



ひなた工房 双葉
石川弘子さん (57)

2023年 埼玉県から移住

衣料品に込められた思いを再生 次世代に紡いでいく

衣料品再生事業のコンセプト「おもいでつむぐ」を実現する「ひなた工房」。縫製を担当する石川弘子さんは2023年、工房のオープンと同時に埼玉県から移住しました。「7年ほど埼玉県で縫製の仕事をしていました。大きな工場だったので大量生産・単純作業の仕事が中心。『もづくりに向き合いたい』、『環境を変えてイチから始めてみたい』という思いが強くなりました。そんな中で出会ったのがひなた工房。リメイクやリフォームを通じて衣料品の思い出を紡ぎ、再生する福島で実現していこうとする会社の姿勢に共感しました。」

「環境を変えてイチから始めてみたい」という思いが強くなりました。そんな中で出会ったのがひなた工房。リメイクやリフォームを通じて衣料品の思い出を紡ぎ、再生する福島で実現していこうとする会社の姿勢に共感しました。」

「一人ではどうすることもできなかった『復興』に関わるきっかけをくれたのがこの移住。日々再生していく双葉町の姿を近くで見ることが幸せを感じています。今後の目標は、ひなた工房ならではの思いや技術を次世代につなげること。モノがあふれているからこそ、一つ一つの思い出を大切にしていきたい。ここでの交流を大切に、焦らずゆとり取り組んでいきます。」



思い出の洋服をぬいぐるみサイズにリメイクする「ぬい服」



ひなた工房 双葉

TEL 0240 (33) 4884
10:00~17:00 営業
福島県双葉郡双葉町中野館ノ内35-1
日・月曜日定休



移住を考えている方へ

正直、移住前は不安がありました。けれど生活に必要な環境は整っているので、車さえあれば不自由なく暮らすことができています。人ごみもなくのびのび過ごせますよ。福島は「ちょっと住んでみよう」「気楽にやってみよう」というカジュアルな気持ちを受け入れてくれる場所です。



株式会社
ネクサスファームおおくま
佐藤栄記さん (39)
2014年 滋賀県から移住



震災から13年。
復興は着実に進んでいることを
実感します

科学的なアプローチでいちごを栽培 試行錯誤しながら道なき道を切り拓く

約2・2ヘクタールの栽培面積を誇るいちご農場「ネクサスファームおおくま」。いちごの栽培・管理を行う佐藤栄記さんは以前、テレビ局のカメラアシスタントとして働いていました。「取材では被災地へ赴くことも多かったです。震災から13年。町の景色はずいぶん変わりました。取材時は立ち入り禁止だったところが入れられるようになっていたり、新しい道路ができていたり。復興は着実に進んでいることを実感します」。

取材で知り合った農家の方が生き生きしている姿を見て、農業に興味を持ったという佐藤さん。「その頃、偶然見つけたのがネクサスファームおおくま。新しい農業に挑戦しようとしているところが面白いと思い、就職を決めました」。

ネクサスファームおおくまは太陽光利用型の工場でいちごを栽培。ハウス内の環境は環境制御システムで自動制御を行い、養液・二酸化炭素、力などチューブを通じて施肥されます。「ここで自分は何



コンピューターを使ってハウス内の環境や収集データをチェック

ができるだろうと考えて課題に取り組んでいます。最近ではAIのプログラミング生成技術を利用し、過去の環境データを栽培に役立てています。私たちの目標は『1年を通じて安定的にいちごをつくること』。これまでの農業の手法だけでなく科学的にアプローチしています」。

「自動で制御できる環境が整えられていても、人による判断が大切です。『何が原因で失敗してしまったんだらう』、『もっと生産性を上げるにはどうしたらいいか』と論理的に栽培を進められるのは魅力の一つだと感じます。試行錯誤をしながら『道なき道』を切り拓いていきたいと思っています」。



株式会社
ネクサスファームおおくま
Tel. 0240 (23) 7671
福島県双葉郡大熊町大字大川原字西平 2127
事務所 / 8:00~17:00 営業
年中無休
※直売の販売日時
は異なります。



移住を考えている方へ

「やりたいこと」をじっくり考えてみると良いと思います。ただ待っていても新しいチャレンジはできません。けれどここにはチャンスがたくさんあります。自分を生かせるよう、自分の意志で動けるよう、移住してからの目標を明確にしてみてください。

いつでも波がある北泉海岸で
初めてのサーフィン体験！



北泉海岸

太平洋に面し、温暖な気候の南相馬市。“サーフィン”の聖地、とも呼ばれ、国際大会も開催される北泉海岸では、プロサーファーやライフセーバーが所属する地元の NPO がサーフィン体験を提供しています。移住・就職活動に疲れた皆さま、歴史の面影と豊かな自然に包まれ、穏やかに時間が流れる南相馬へ、リフレッシュを兼ねてぜひ遊びに来てください。

オリジナルグッズをプレゼント！

南相馬市役所／福島県南相馬市原町区本町 2-27
Tel.0244 (24) 5269 (平日 8:30~17:15 受付)



みなみそうまし
南相馬市



南相馬市役所 移住定住課

【支援制度】

- 移住検討者市内活動交通費支援補助金：
タクシー・レンタカー利用料を補助
- お試し住宅：
利用料無料、1 回につき最大 10 泊

子育て環境が魅力
未来実るひろの



ニッ沼総合公園

オリジナルマスクングテープをプレゼント！

広野町役場／
福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替 35
Tel.0240 (27) 1251 (平日 8:30~17:15 受付)



ひろのまち
広野町



広野町役場 復興企画課
広野暮らし相談窓口「りんくひろの」

【支援制度】

- 0~2 歳児 保育料無償化
- 3~5 歳児・小学生・中学生 給食費無償化



自然・食・観光など魅力あふれる 12 市町村。街の魅力を各自治体や移住相談窓口のみなさんに教えていただきました。各市町村では移住や子育てに関するさまざまな支援制度があります。新しいチャレンジをここで始めませんか。

…このマークがある市町村では「FUKURAS」を持参して相談に来た方に特典を用意しています。

とみおかまち
富岡町



富岡町役場 企画課

【支援制度】

- 教育費の無償化：町内の小・中学校に通学する児童生徒の就学費を町で負担。新入学用品・学用品・通学費・校外活動費・修学旅行費等の補助もあります

富岡町は海・山・川があり自然豊かで、四季を通じて過ごしやすい町です。中でも「夜の森の桜」は毎年全国から観光客が訪れる観光スポットです。町では特に教育・子育て支援に力を入れており、町立の小・中学校の教育費の実質無償化を行っています。その他、教育・子育て以外にも創業・起業、住宅取得・改修、就農等に関する各種補助制度もありますので、お気軽にご相談ください。

富岡町役場／福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1
Tel.0240 (22) 2111 (8:30~17:15 受付)



さまざまな支援制度で
移住者の方を移住してからも応援！



夜の森の桜のトンネル

あなたのチャレンジ・仕事探しを応援！
支援制度も充実！



町の特産品「いちご」

大熊町では、移住者の「やってみたいことに思い切って挑戦してみる」を応援する「大熊チャレンジ応援プログラム」があります。企画実施の費用負担やイベント進行のアドバイスなど幅広いサポートを行います。また、大熊町移住定住支援センターで「無料職業紹介所」を併設し、町内にある事業所の求人をご紹介します。新たに求人サイト「くまジョブ」を開設しました。住宅支援や子育て環境も充実！ 大熊町で新しい生活を始めてみませんか？

オリジナルクリアファイルとステッカーをプレゼント

大熊町役場／福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平 1717
Tel.0240 (23) 7456 (平日 8:30~17:15 受付)



おおくままち
大熊町



大熊町役場
生活支援課 移住定住支援係

【支援制度】

- 住宅取得等（新築・中古・修繕）：
最大 500 万円
- 家賃補助：最大月 4 万円（36 カ月）
- 移転補助：最大 20 万円（移住後 1 年後）



たむらし 田村市

田村市役所 企画調整課

【支援制度】

- 移住支援金：〈世帯〉最大 200 万円
〈単身〉最大 120 万円
- 賃貸住宅家賃補助：月 4 万円上限
- 子育て世帯住宅取得補助：最大 180 万円

田村市では、移住してチャレンジしたい方を応援しています。農業・林業に就きたい、創業・起業したい方へのサポートはもちろん、プロによる就労支援を無料で行っていきます。ショッピングセンター内のチャレンジショップも無料で利用できます。また、住宅取得・改修、子育てに関する各種補助制度の充実を図っているほか、現地体験ツアー・イベントも通年実施しています！

🎁 企画調整課 or 「たむら移住相談室」にご相談の方には、オリジナルノベルティをプレゼント！

田村市役所／福島県田村市船引町船引字畑添 76-2
Tel.0247 (61) 7615 (平日 8:30~17:15 受付)



「ちょうどいい田舎」で
チャレンジしてみませんか



仙台平 (せんだいひら)

充実した支援制度や

移住・定住促進住宅で

新生活を応援します！



トルコギキョウ

🎁 先着 10 名に
オリジナルアルミボトル (非売品) をプレゼント

川俣町役場／
福島県伊達郡川俣町字五百田 30
Tel.024 (566) 2111 (8:30~17:15 受付)



川俣町は、JR 福島駅から車で約 30 分、東京から 2 時間圏内。阿武隈山系の豊かな里山と清流に囲まれながら、街の便利さも併せ持っている町です。賃貸住宅の入居者、二地域居住者などへの支援金のほか、空き家の改修・建て替え等にも支援金があります。また、妊婦さんへのタクシー利用助成、「かわまた認定こども園」の保育料無償化、中学生までの給食費完全無償化など子育て支援も充実。ぜひお気軽にご相談ください。



かわまたまち 川俣町

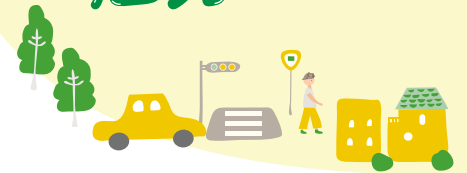
川俣町役場 政策推進課

【支援制度】

- 川俣町空き家改修等支援金 (福島県外からの移住者)：最大 250 万円
- 川俣町賃貸空き家改修等支援金 (福島県外からの移住者)：最大 250 万円



12 市町村の 魅力を紹介!



温暖な気候で
年間を通して楽しめる町



天神岬スポーツ公園

ならはまち 檜葉町



檜葉町役場 政策企画課

【支援制度】

- 空き家改修補助金：最大 250 万円
- 賃貸住宅家賃補助金：最大 4 万円 (月額)

檜葉町は、首都圏からも日帰りできる、ほどよい場所で寒暖の差も少なく、1 年を通して過ごしやすい気候に恵まれた町です。海、山、川を活用したアクティビティや、温泉とキャンプを同時に楽しめる天神岬スポーツ公園など豊かな自然を体感できるのも特徴です。

短期滞在をしながら檜葉町の生活を体感できるお試し住宅や、支援金の手続き・おうち探し・お仕事探し等、お気軽に移住相談窓口へお問い合わせください。

檜葉町役場／
福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂 5-6
Tel.0240 (23) 6103 (平日 8:30~17:15 受付)



自然豊かな川内村で

のんびりスローライフを!



かわうちの湯

川内村にはおいしいお米やそば、ぶどう、いちご、ワインなどの特産品が数多くあります。また、アルカリ度数の高い泉質で「美人の湯」として有名な温泉施設も人気。村では、新たに住居を取得する方へ条件がありますが、村独自の支援制度として最大 200 万円を補助しています。また、子育て世帯への各種補助 (保育料無料、チャイルドシート等購入補助金) も行っております。お気軽にご相談ください。

🎁 川内村ノベルティグッズをプレゼント

川内村役場／
福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡 11-24
Tel.0240 (38) 2111 (平日 8:30~17:15 受付)



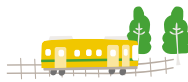
かわうちむら 川内村

川内村役場 総務課

【支援制度】

- 「来て かわうち住宅取得等支援事業補助金」：〈新築〉最大 200 万円、〈中古住宅取得〉最大 70 万円、〈増改築〉最大 70 万円
- 保育園保育料：無料
- 保育園・小・中・学園 (義務教育学校) 給食費：無料 ほか

12市町村の魅力を紹介！



ふたばまち 双葉町



双葉町役場
双葉町復興推進課

【支援制度】

- 移住支援金（福島県）
- 起業支援金（福島県）

双葉町がJR双葉駅西側に整備していた公営住宅が、このたび全戸完成しました。和モダンの洗練された心地よい住宅で、移住される方もお申し込みいただけます。沿岸部の産業団地では多数の企業が操業中。あなたにぴったりの仕事が見つかるかも。居住者の半分ほどが新たに移住された方なので、これから移住する方も安心ですね。移住者向けの各種助成金もありますので、お気軽にお問い合わせください。

一般社団法人ふたばプロジェクト 移住相談センター
福島県双葉郡双葉町大字塚字谷沢町 100-3
TEL.0240 (23) 7637（平日 9:00～17:00 受付）



全戸完成！

双葉駅徒歩圏内の和モダン住宅

えきにし住宅



なみえ焼そば

住みたい田舎

ベストランキング1位！

※「住みたい田舎ベストランキング1位」2024年版 人口1万人未満の町総合部門、若者・単身者部門において。

「B-1グランプリ[®]」のゴールドグランプリを獲得した「なみえ焼そば」でも知られる浪江町。町の復興が進展し、移住者も増加し続けています。雪が積もりにくく、夏は比較的涼しい恵まれた気候の中で、水素の地産地消を実現する最先端のテクノロジーや、隈研吾氏がデザインを手掛けた浪江駅周辺整備も進む、豊かな自然と新たな挑戦が共存するまちです。移住検討時には、月2万円ですぐに滞在できるお試し宿泊制度や、短期宿泊の支援制度、レンタカー利用補助も用意しています。

浪江町役場/
福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田 7-2
TEL.0240 (23) 5764（8:30～17:15 受付）



なみえまち 浪江町



浪江町役場
企画財政課 移住推進係

【支援制度】

- 移住者向け住宅支援：月額家賃最大4万円 24カ月間補助
- 移住者住宅取得補助：最大145万円
- 空き家改修等支援：最大250万円

かつらおむら 葛尾村



葛尾村移住・定住支援センター

【支援制度】

- 移住支援金：世帯最大200万円（単身最大120万円）
- 空き家活用支援：最大250万円

葛尾村は、山々に囲まれ、豊かな自然が織りなす四季折々の原風景が残るとても小さな村です。県外から移住される方には、支援条件を満たした空き家の改修費用に最大250万円支援するほか、芸術家などの移住者に対して、独自の支援金も準備しています。

また、子育て支援施策も充実しており、児童手当の上乗せ給付や、医療費の助成も実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

🎁 葛尾村移住・定住支援センター or 復興推進室にご相談の方に、ノベルティーをプレゼント

葛尾村移住・定住支援センター/
福島県双葉郡葛尾村大字落合字落合 20-1
TEL.0240 (23) 7727（9:00～17:00 受付）



アートで地域おこし

葛尾村の胡蝶蘭「HOPEWHITE」



自然豊かな村で

スタートしませんか

飯舘村の飯糰地区

飯舘村は、「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を目指し、新たな歩みを進めています。移住をする際の住宅取得に対する補助のほか、村で生業を始める方を応援する各種補助制度をご用意しております。意欲一つあれば、あらゆる可能性を見いだせる自然豊かな村です。ぜひ、「ふるさとの担い手」の輪と和が広がっていく、そんな村ぐらしを体験してみませんか。各種支援制度など、詳しくはお問い合わせください。

飯舘村役場/
福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢 580-1
TEL.0244 (42) 1622（平日 8:30～17:15 受付）



いいいてむら 飯舘村



飯舘村役場 村づくり推進課

【支援制度】

- 住宅新築補助金：最大500万円
- 空き家等購入補助金：最大200万円
- 住宅修繕等補助金：最大100万円
- スタートアップ補助金：最大200万円

働きたいネット

「福島広域雇用促進支援協議会」って?

福島広域雇用促進支援協議会は、12の市町村、18の経済団体、それに福島県の合計31の会員と避難先である自治体や経済団体等のオブザーバー会員で構成されています。

地域による自主性・創意工夫のある取り組みを支援することが大切であることから、協議会が提案した雇用対策、就職支援に関わる事業から効果が高いものを国が選定しています。それらの事業を協議会が厚生労働省福島労働局から受託し、活動を行っております。

お問い合わせはお気軽に!




はたらっこ



移住は?と思ったらお仕事探しも始めませんか。
働きたいネットは、ひとり一人に寄り添い
就職・転職を丁寧にサポート! 利用はどれも無料!

就職相談

まずは、気軽に相談してみよう!

 **0120-810-650**

あなたの就職・転職の悩みを一緒に解決していきましょう!

就活ワークショップ(求職者カフェ)

応募書類の作成や面接対策、証明写真の撮影、パソコンの基本操作等の支援を自分に合ったタイミングで受けられます。
オンライン就活にも対応。毎月就活に役立つイベントを開催しています。

就職面接会

就活は“情報収集がカギ”
短時間で複数の企業と話せる就職面接会を活用しませんか。求人票には載っていない魅力を企業から直接聞ける機会です。

ふくしまで働こう@企業説明会

福島の企業が集結! 会社説明、就職相談、自治体等による移住などの情報提供もあります。
仕事探しの情報収集やきっかけづくりに参加してみませんか。

職場体験実習

被災12市町村等の様々な事業所で、興味のある仕事を実際に体験するチャンスです!
「どんな仕事なのか」、「仕事は自分に合っているか」を体験すると、応募前の不安が解消され、自信につながります。まずはやってみませんか。

企業見学会

応募したいけど、どんな会社だろう?雰囲気はどうだろう?そんな時は、ぜひ企業見学会へ!
求人票だけではわからない魅力や仕事の内容、働く環境を知ることができます。
しっかり確認して就活を進めませんか。

実践型 Word・Excel パソコン講座

どのような業種においても、パソコンの実務処理能力が求められています。基本的なパソコン操作からケーススタディまで、実践的な内容を短期間で学べます。更に応募の際活用できる、就職に向けた書類作成の時間も設けています。

社会人基礎力セミナー

NLPコミュニケーション(言葉と心の使い方・自己変換ツール)を用い、柔軟性、傾聴力、状況把握力、ストレスコントロール等を見直し、採用面接や就職後にも役立つ基礎力を学びます。
やる気と行動力をグングン引き出すセミナーです。

上記の事業はほんの一部。ひとり一人の状況に合わせて個別に支援しているので、まずは気軽にご相談ください。

お問い合わせ

福島広域雇用促進支援協議会 TEL.024-524-2121

働きたいネット 検索

福島市中町4番20号 エスケー中町ビル202号 平日 9:00~12:00 / 13:00~16:30





ふくしまで働く・暮らす・新しい私
FUKURAS ふくらす

発行 福島広域雇用促進支援協議会
制作 福島リビング新聞社
発行日 令和6年7月18日
